

# 国内最大級 ケージフリー型

# 養鶏・採卵場 新富に新設

鶏卵生産・販売のフュージョン(都城市、赤木八寿夫社長)は、アニマルウェルフェア(動物福祉)に対応した国内最大級のケージフリー型の養鶏・採卵場を新富町口置に新設した。ケージ(柵)の中で飼育する従来型の養鶏とは異なり、屋

内型の施設で放し飼いにされていることが特長。2018年6月までに20万羽を飼育する計画。同社の従来型の養鶏・採卵場は、広さ約0.38平方メートルのケージで10羽を飼育。省スペースで飼育し、細かい給餌量や衛生面の管理を自動化するこ

## フュージョン(都城)

・採卵場とは異なり、屋内型の施設で放し飼いにされていることが特長。2018年6月までに20万羽を飼育する計画。同社の従来型の養鶏・採卵場は、広さ約0.38平方メートルのケージで10羽を飼育。省スペースで飼育し、細かい給餌量や衛生面の管理を自動化するこ

## 動物福祉対応 世界的流れ

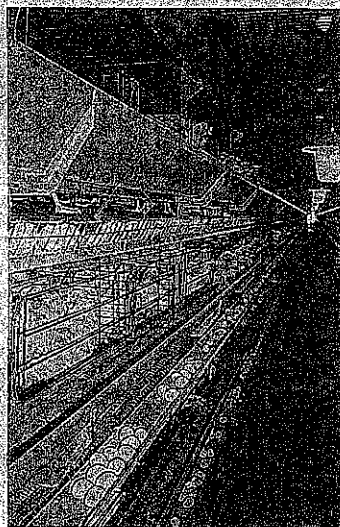


フュージョンが稼働を始めたケージフリー型の養鶏・採卵場(新富町口置)

シフリー型では90日から区画で飼育し、床からネ

ストまで飛び上がる練習をさせるなど、「本来の鶏らしい姿で飼育できるように欧州連合(EU)基準に対応した飼育環境を整備した」と同社は説明する。

20年開催の東京五輪・



ケージ内で飼育するフュージョンの従来型の養鶏・採卵場(新富町口置)

1羽当たりの給餌量を細かく管理できないため、コスト高となる課題もあり、同社は高級卵として販売開拓を目指す。養鶏・採卵場は全体が広さが約3600平方メートルで鉄骨平屋。完全密閉型で外部から小動物や鳥インフルエンザなどのウイルスが侵入しないようにしている。給餌や採卵の

パリリンピックの選手村などで食品提供基準となる「JGAP(ジエイギャップ)」認証も取得する予定。一方、卵のサイズやを試験的に飼育してい